



核兵器のない平和な世界を

80人参加 岡山駅でスタンディング・アピール



写真上・1時間のスタンディングのあと参加者で記念撮影しました。7/19

平和行進県内行進第4日目の7月19日、行進団は午前9時40分から岡山県庁前で出発集会を行いました。集会には岡山県総務部大月課長が「唯一の戦争被爆国の惨事を世界に伝えていかねばなりません」と挨拶。この日の総指揮者森脇さんは「第1回締約国会議にはNATO参加国からの出席もあり、日本政府の異常さが際立った、『核抑止』論の破たんが明らかになった。禁止条約参加の政府を目指そう」と参加者を激励し



写真左・平和七夕飾りの下を行く平和行進 写真上・岡山「被爆2世・3世の会」の皆さん「毎日1人は参加しよう」と頑張っています。写真下・四国一広島コースの横断幕が四国を歩かれた山口さんの手から引き継がれました。



ました。廣信靖之県被爆者会会長は2歳の時、爆心地から1.4kの所で被爆した体験を話され、「政府の『核共有』など絶対認める事は出来ない」と挨拶されました。行進は平和七夕飾りの表町商店街を行進、11時から岡山駅さんすて前で80人が参加してピース・スタンディングで市民にアピールしました。“フレンズ”の皆さんの歌と各団体のアピールメッセージで成功しました。